きんたろう倶楽部通信

6号

2009年2月20日発行
きんたろう倶楽部事務局
〒930-0151 富山市古沢254番地
富山市ファミリーパーク内
TEL&FAX:076-434-1316
URL:http://kintaroclub.net
E-mail:info@kintaroclub.net

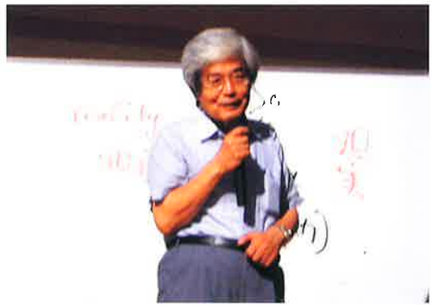
2006年4月23日
きんたろう倶楽部結成
2009年2月の会員数:784名

人びとが暮らすために必要な森づくり。子どもたちがのびのび育つために必要な森づくり。
それにはあなたの力が必要です。自然の恵み豊かな富山の里山を、いっしょに創りませんか。

第一回シンポジウムが九月十五日、カナルパークホテルにて開催され、市民四百八十人が参加しました。

基調講演
「なぜ、人間の脳は環境破壊の脅威に鈍感なのか？」

東京大学名誉教授
きんたろう倶楽部名誉会長
養老　孟司



環境問題は、係わりのない人は全然関心を持たない、日常関係ないからと思っておられる方も多いでしょう。なぜ、そのように現実をとらえるのかということを長年思っていました。それで「バカの壁」に私は妙な式を書きました。「y=ax」という式です。「x」は脳みそに対する入力です。「y」は出力で、出力って何かというと行動です。ここに「a」という関数が係わっています。これにはプラスマイナスがあって、「a」がプラスだと「好きだ」、「a」がマイナスだと「嫌いだ」。例えば向こうから人が来ると目から入力されて、頭の中で「借金取りだ」と判断すると逃げて、「恋人だ」となると近寄ってきます。判断によって「a」が大きくなったり小さくなったりします。行動も、一方は逃げる、一方は近寄るということになります。

その中で、一番の問題は、「a=0」と計測してしまうことです。好きでも嫌いでもない、一切出力がないのです。街の中に土地があって、草や木が生えていると皆さん「空き地」と呼ぶでしょう。そこに何もないということです。だけど、鳥が来てトンボが飛んでモグラがいるかもしれません。しかし、家を建てる時にそういうものを一切気にしない。これを私は、そこにあるはずの木や草はその人の現実ではないと定義します。私は虫が好きなので、虫が歩いていると足が止まります。しかし、普通の方は足を止めないでしょう。このように、その人の生活、動きを変えない場合には現実として捉えていないといえるのです。

もっと言えば、いくら知識を得てもその人の行動に影響しない時は無駄な知識といいます。環境はかなりそれに近付いていまして、「環境は大切ですね」って必ずおっしゃるのだけど、「a=0」に近い人が非常に多いのではないかなと思っています。

人間の脳が外に出せるものは、身体の動きだけです。しかし多くの方がそう思っていません。お母さん方は「そんなに野球ばかりしていないで勉強をしなさい！」って怒っています。実は身体を動かすことは一番頭を使うのですけど、本を読むなり話を聞くなりして考えるところまでが勉強で、ここから先は勉強じゃないと思っています。これで今の現代社会は非常にまずいことになっているなと僕は思います。

例えば都会に住んでいると、同じ堅さの平らな地面をひたすら歩きます。あれって脳みそから言うと、全く怠けている。ホンダが作った二本足で歩く機械は、200億円かけたコンピュータソフトが入っています。では、皆さん歩くために200億円かけていますか？そんなはずありません。すでに立派なソフトが入っているのです。申し上げたいのは、その立派なソフトをどの程度改良なさったかということです。どんなコンピュータだってどんどんソフトを新しくします。ところが今の人はほとんど同じ堅さの所しか歩きません。段差があると階段を作り、駅ではエスカレーターです。どうしてそこまで頭を使いたくないのでしょうか。ボランティアとか、どんどんやられた方が頭のためにはとても有効だと思われます。

今、私たちは人間の感覚を無視してしまっているのだと思います。だから環境破壊にも気付きにくくなっているのです。それを回復するには自然の中に出るのが一番いい。自然は非常に多様で、多様ということは違いを見ていろいろ感じられるのです。自然は対象として同じことが絶対に起こりませんからね。

省エネ活動以外に自分で取り組んだことがなかったので、楽しみにしていました。

植樹する樹はたくさん種類がありました。ぼくは栗の木を植えました。早く大きくなったらいいなと思いました。また来る機会があったらぜひ見てみたいと思います。

緑化活動をして

富山市立光陽小学校
岡野　仁美

宿泊学習のとき、緑化活動でころりんの森に苗木を植えました。初めて苗木植えをしましたが、きんたろう倶楽部の方に手伝ってもらって、五年生全員がうまく苗木を植えることができました。その結果、何もなかった森に約百五十本の苗木が植えられました。

今、総合の学習の中で、環境について学習しています。木は二酸化炭素をすって、酸素を作り出す働きを持っています。木を植えると、二酸化炭素の量が減るので、環境にとても良いです。

今回の宿泊学習で、いろいろ手伝ってくださり、きんたろう倶楽部の方々には、とても感謝しています。ありがとうございました。木を植えることはあまりできないけれど、他にも簡単に取り組めるエコ活動はたくさんあるので、地球温暖化防止につながるように、エコ活動を続けていきます。

森をよみがえらせろ

富山市立光陽小学校
今江陽奈子

ころりんの森へ行って、きんたろう倶楽部の人たちと植樹活動をしました。

「十年後、あの樹たちはどうなっているのかな？」と、想像しながら植えました。木を植えると環境によいので、がんばりました。土を掘り進めていくと、だんだん堀りやすくなってきました。

五年後、十年後、ころりんの森を訪れてどうなっているのか見守っていきたいと思います。

「KOROりんの森」里山林整備（植樹）と芋煮会

三井物産㈱北陸支店
業務室長　**川井　中**

11月15日(土)、山田ふれあい森林公園KOROりんの森での植樹活動に、法支店長夫妻を始め、当社北陸支店の職員・家族、社友、関係会社職員・家族の総勢16名で参加させて頂きました。

事前に、苗木は、1.5mに育っており掘り出すのは結構な作業になると伺っていたので、覚悟を決めて臨みました。実際2メートル以上に育っている苗木も多くあり、又、一人数本のノルマに一瞬たじろぐ場面もありましたが、各班長が手馴れておられ、適確な指示の下、作業は順調に進みました。

驚いたのは、植える時の効率を考え、掘り出した苗木の根の枝部分を大胆に切り落としてしまうことでした。「大丈夫、幹から生える枝と同様、新しい根が生えてきて、養分を吸収してくれる」と言われ、安心して大胆な根枝打ちを見習いました。

成長した苗木を植えるために、多少深めの穴を掘る必要があり、地面にスコップを入れると結構石も多く、大きな石を避けたり取り除いたりで一苦労でした。植える位置・間隔は適当で、それで良いのかと疑問を持ちましたが、「冬の間、雪風で倒れたり押しつぶされたりして、全部が順調に育つわけではないから」と言われ納得しました。

使用された肥料は、きんたろう倶楽部が竹林整備で伐採した竹材を、当社環境基金助成で購入したチッパーシュレッダー機で粉砕し、数度の「切返し」を行い堆肥化した自前のものとのこと。当社も、森づくりに僅かながらでも貢献できたかなと感じた次第です。

先日、黄砂に関するシンポジウムに参加して、発生源となっている大陸の砂漠地帯で、砂漠化防止の為の植林が一斉に行われたところ、地下水枯渇の原因になってしまったという話を聞きました。一旦枯れた森を復活するのは容易ではありません。幸い日本では、砂漠化しているような森林地域も植林で地下水が枯渇化したなどの話もありませんが、森を守るという意味では、荒れることも同じだと思います。「森と人との元気の循環」をいつまでも大切に守り、いつか、又、私達の植えた木々が成長し森になったところを見てみたいと思っています。

人が木を育てれば、やがて森になる。

編集後記

昨年末の活動慰労会にたくさんのご参加ありがとうございました、今年度も作業やイベントが数多くありましたが、活動熱心な会員の皆さまのお陰で、怪我や事故もなく無事終えることが出来ました、心から感謝申し上げます。

年2回発行予定の会報誌が今回のみになりましたことをお詫び致します。

私自身お世話になってまだ日が浅いのですが、この頃あるがままを感じることで、これが自然の豊かさかな……と意識する気持ちになっています。

今後とも応援よろしくお願い致します。

（事務局　吉山）